

ビ

ー

だ

ま

## ビーだまのように、キラリと光る一冊を

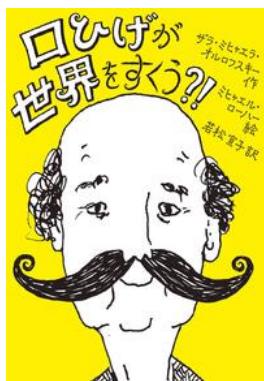
2017年1月～12月に発行された本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号  
電話 076-461-3200  
平成30年4月23日発行（年1回発行）



### 口ひげが世界をすくう?!

ザラ・ミヒャエラ・オルロフスキー／作 ミヒャエル・ローハー／絵  
若松宣子／訳 岩波書店

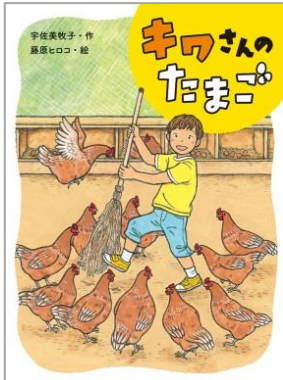


おばあちゃんが死んでから元気のないおじいちゃんが、とつぜん「ひげの世界チャンピオンになる」と宣言しました。でも、おじいちゃんにはひげが1本も生えていません。

家族は大会に出ることに反対しますが、孫のまごヨーヨーだけは、おじいちゃんと世界一をめざそうと決心します。

## キワさんのたまご

宇佐美牧子／作 藤原ヒロコ／絵 ポプラ社



サトシは、とてもおいしいというくまぼろしのたまごを食べてみたくてたまりません。そこで、ニワトリを飼っているキワさんをたずねると、草むしりや野菜の収穫など次々に仕事を言いつけられます。

仕事をすればたまごがもらえると信じて、サトシはキワさんの家に通うことにしました。



## メリーメリーおとまりにでかける

ジョーン・G. ロビンソン／作・絵 小宮由／訳 岩波書店

小さなメリーメリーは、5人きょうだいの末っ子です。兄さんや姉さんにじゃまものあつかいされてはらたったので、ひとりで出かけることにしました。ティーポットのカバーをかぶり、ハイヒールをはき、大人のようなおしゃれをしてしゅっぱつします。

「メリーメリー」シリーズは全部で3さつあります。



## 小学校がなくなる!

麻生かつこ／作 大庭賢哉／絵 文研出版



彩が通う都小学校の廃校が決まり、次の春から若葉小学校に転校することになりました。すきだった校舎や校歌がなくなり、先生ともおわかれだと思いと、彩は不安でいっぱいになります。

どうしても若葉小学校に行きたくない彩は、市長さんに意見を伝えようと市役所にのりこみます。

## 唐木田さんち物語

いとうみく／作 平澤朋子／画 毎日新聞出版



志朗は 8 人きょうだいの 6 番目。いつもはにぎやかでなかがよい家族ですが、1 番年上のいち姉の結婚をめぐり、大さわぎがおこります。相手は子どもがふたりもいるおじさんらしいのです。

志朗たちは、いち姉の彼氏がどんな人なのか気になって、こっそり会いに行くことにしました。



## 拝啓、お母さん

佐和みずえ／作 かんべあやこ／絵 フレーベル館

もうすぐ赤ちゃんが生まれるお母さんに「妹なんかいない」と言ってしまったゆな。すなおにあやまれないまま、昔ながらの活版印刷所をいとなむ祖父の家で夏休みをすごすことになります。

ゆなは仕事を手伝ううちに、活字にすれば本当の気持ちを伝えられるのではないかと考えました。



## モルモット・オルガの物語

マイケル・ボンド／作 おおつかのりこ／訳 いたやさとし／絵 PHP 研究所



ペットショップからオガクズ家にきたモルモットのオルガは、すてきな小屋を用意してもらってうっとり。最高の家にきたと思いましたが、外にはもっと楽しい場所があると聞き、小屋をぬけ出します。

けれども、その話はうそでした。外でぼろぼろになったオルガは、なんとか家に帰ろうとします。

# 最後のオオカミ

マイケル・モーパゴ／作 はらるい／訳 黒須高嶺／絵 文研出版



これは、わたしの祖先ロビー・マクロードと、スコットランド最後のオオカミの物語です。

孤児のロビーは、戦場からにげて、身をひそめながら生きのびていました。ロビーは自分の身代わりにうちころされたオオカミに子どもがいたことを知り、いっしょにアメリカへわたることにします。



## すごいね!みんなの通学路 世界に生きる子どもたち (絵本)

ローズマリー・マカーニー／文 西田佳子／訳 西村書店

世界中のあっとおどろく通学路を見てみましょう。子どもだけで舟をこいだり、高いがけにはしごをかけてのぼったりするようすは、見ているだけでハラハラします。ロバや犬ぞりに乗って通う道は、なんだか楽しそう。



どんな通学路でも、みんな学校が大すきです。



## クララ

### 300年前にはじめてヨーロッパを旅したサイのはなし (絵本)

エミリー・アーノルド・マッカーリー／作 よしいかずみ／訳 BL出版



300年ほど前、船長は〈まぼろしのけもの〉とよばれるサイのクララと出会います。船長はクララをゆずってもらい、自分の船にのせました。

エサを1日30キロ以上も食べ、体がどんどん大きくなるクララ。ときには荷馬車にのり、ときには海を船でわたり、17年にわたる旅を続けました。